



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場取引所 東 名

上場会社名 名糖産業株式会社

コード番号 2207 URL <http://www.meito-sangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 水谷 彰宏

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 山崎 潔

TEL 052-521-7111

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	9,626	△0.5	△22	—	259	△53.6	36	△86.7
23年3月期第2四半期	9,670	△1.9	189	△37.0	558	△3.2	276	△40.1

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △222百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △1,530百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	2.19	—
23年3月期第2四半期	16.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	42,627	30,215	70.6
23年3月期	44,230	30,744	69.3

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 30,090百万円 23年3月期 30,650百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	20.00	20.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

23年3月期期末配当金の内訳 記念配当 2円00銭

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	△0.4	200	△64.6	700	△36.1	300	△57.6	17.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	21,265,000 株	23年3月期	21,265,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	4,454,301 株	23年3月期	4,453,650 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	16,811,083 株	23年3月期2Q	16,812,323 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後のサプライチェーンの復旧により経済活動の停滞を脱し、さらに自粛ムードの緩和や節電・省エネ関連需要も伴って、景気回復局面にはいりました。しかし、欧州のソブリン・リスク問題を背景とした世界金融市場の動揺や米欧景気の減速など、世界経済の変調と円高により輸出環境が悪化し、さらに内需の伸び悩みも伴って、今後の景気回復力には不安を残しました。

当社グループの中核事業の一つである菓子・食品の市場におきましても、安全・安心で高品質な商品の提供への取り組みが強く求められる一方で、原材料・エネルギーコストが上昇するなかで低価格競争が激化するなど、厳しい事業環境が続きました。

こうした情勢のもと、当社グループは、商品の安全性確保と品質の向上に引き続き注力するとともに、お客様のニーズにお応えできる高付加価値商品の提供ならびに積極的な販売促進活動を進めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期に比べ0.5%減（下記のチョコレート商品および粉末飲料部門の取引価格変更分を考慮すると2.6%増）の9,626百万円となりました。（食品事業におきまして、取引価格の変更をファミリータイプのチョコレート商品につきましては昨年9月より、粉末飲料部門のガゼット袋タイプと大缶タイプの商品につきましては本年4月よりそれぞれ実施しております。そのため売上高および販売促進費が前年同期の基準で計算した場合よりも減少しております。）営業損益につきましては、事業活動の効率化やコストの削減を押し進めましたが、原材料価格の上昇および昨年稼働しました3工場の減価償却費の負担増などにより22百万円の営業損失となりました。前年同期は189百万円の営業利益でありました。また、経常利益は前年同期に比べ53.6%減の259百万円となり、四半期純利益につきましては、特別損失に投資有価証券評価損161百万円を計上しました結果、86.7%減の36百万円となりました。

事業分野別の動向は、次のとおりであります。

食品事業

当第2四半期連結累計期間におきましては、主力の菓子部門は前年同期に比べ減収ではありましたが、上記の取引価格変更の影響を考慮すると、ほぼ前年同期並みとなりました。チョコレート類は、主力ブランドの「アルファベットチョコレート」や「ベストアソートチョコレート」などのファミリータイプの商品は堅調に推移しましたが、「ぷくぷくたい」をはじめとするエアインチョコレートの売上は減少しました。キャンディ類は、小袋商品など自社商品の売上は「粒塩飴」などが好評で増加しましたが、受託商品が低下し減収となりました。

粉末飲料部門は、主力の「レモンティー」や「ロイヤルミルクティー」などラインアップされた基幹商品の拡販に取り組みした結果、前年同期と比べ減収となりましたものの、上記の取引価格変更の影響を考慮すると、ほぼ前年同期並みとなりました。

また、主として九州地区で製造・販売している冷菓部門は、自社品、受託商品ともに苦戦を強いられ減収となりました。

そのほか、連結子会社の株式会社エースペーカーは、昨年の新工場稼働に合わせて、新商品開発による商品の品揃えや販売促進活動を積極的に推進しました結果、主力のパウムクーヘン類やゼリー類の売上が大きく伸びて増収となりました。

これらの結果、食品事業の売上高は前年同期に比べ0.4%減（上記のチョコレート商品および粉末飲料部門の取引価格変更分を考慮すると3.2%増）の8,338百万円となりました。営業利益につきましては、原材料価格の上昇や昨年稼働しました新工場の減価償却費の増加などにより、前年同期に比べ67.7%減の142百万円となりました。

化成品事業

酵素部門につきましては海外を主な市場としており、企業間競争が激化するなか、東京電力・福島第一原子力発電所の事故に伴う海外での風評被害や円高の影響を受けました。その厳しい環境下、脂肪分解酵素「リパーゼ」の売上は国内・海外市場の拡大に向けての精力的な提案・販売促進活動が功を奏し増加しましたが、チーズ用凝乳酵素「レンネット」は減収となりました。

また、薬品部門につきましては、医薬品、X線フィルムなどの原料の「デキストラン」の売上が海外市場の開拓により増加し、さらに「デキストラン」の誘導体の売上も伸びて増収となりました。

これらの結果、化成品事業の売上高は前年同期とほぼ同水準の1,093百万円となり、昨年稼働しました2工場の減価償却費の負担や円高の影響を受けながらも82百万円の営業利益となりました。前年同期は17百万円の営業損失でありました。

不動産事業

不動産事業につきましては、連結子会社のプリンスゴルフ株式会社の収益の減少などにより売上高は前年同期に比べ6.2%減の194百万円となり、営業利益は前年同期に比べ12.0%減の91百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ583百万円減少し、8,251百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が1,168百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,020百万円減少し、34,375百万円となりました。これは、減価償却などにより有形固定資産が599百万円減少したことや、保有する株式の株価の下落などにより投資有価証券が317百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ1,603百万円減少し、42,627百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ522百万円減少し、4,957百万円となりました。これは、短期借入金が610百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ551百万円減少し、7,454百万円となりました。これは、長期借入金が413百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,074百万円減少し、12,411百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ529百万円減少し、30,215百万円となりました。これは、利益剰余金が299百万円減少したことや、その他有価証券評価差額金が259百万円減少したことなどによります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末と比較し75百万円減少して、1,755百万円となりました。

営業活動の結果得られた資金は、1,613百万円となりました。資金の主な増加要因は、売上債権の減少額1,168百万円および減価償却費862百万円であり、主な減少要因は、たな卸資産の増加額811百万円および法人税等の支払額113百万円であります。投資活動の結果使用した資金は、306百万円となりました。資金の主な増加要因は、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入344百万円であり、主な減少要因は、有価証券及び投資有価証券の取得による支出301百万円、定期預金の預入による支出200百万円および有形固定資産の取得による支出164百万円であります。また、財務活動の結果使用した資金は、1,382百万円となりました。資金の主な減少要因は、短期借入金の純減額610百万円、長期借入金の返済による支出413百万円および配当金の支払額334百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績の動向等を踏まえ、平成23年5月13日に公表いたしました平成24年3月期通期の連結業績予想を修正しております。

当該予想の修正に関する事項は、本日(平成23年11月4日)公表の「第2四半期連結累計期間業績予想と実績との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,864	2,088
受取手形及び売掛金	4,528	3,359
有価証券	298	100
商品及び製品	765	1,193
仕掛品	273	372
原材料及び貯蔵品	609	893
その他	503	248
貸倒引当金	△9	△6
流動資産合計	8,834	8,251
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,863	5,656
機械装置及び運搬具(純額)	5,227	4,812
その他(純額)	3,200	3,221
有形固定資産合計	14,291	13,691
無形固定資産	101	92
投資その他の資産		
投資有価証券	20,262	19,945
その他	808	714
貸倒引当金	△68	△68
投資その他の資産合計	21,002	20,591
固定資産合計	35,395	34,375
資産合計	44,230	42,627

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,066	2,350
短期借入金	610	—
1年内返済予定の長期借入金	826	826
未払法人税等	114	57
返品調整引当金	9	4
その他	1,853	1,718
流動負債合計	5,479	4,957
固定負債		
長期借入金	3,707	3,294
繰延税金負債	1,686	1,605
退職給付引当金	2,118	2,095
役員退職慰労引当金	15	16
その他	479	442
固定負債合計	8,006	7,454
負債合計	13,485	12,411
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,313	1,313
資本剰余金	76	76
利益剰余金	33,909	33,609
自己株式	△8,534	△8,535
株主資本合計	26,764	26,463
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,886	3,626
その他の包括利益累計額合計	3,886	3,626
新株予約権	94	124
純資産合計	30,744	30,215
負債純資産合計	44,230	42,627

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	9,670	9,626
売上原価	6,398	6,746
売上総利益	3,271	2,880
販売費及び一般管理費		
販売促進費	1,214	994
運送費及び保管費	513	522
広告宣伝費	35	34
給料手当及び賞与	764	777
退職給付費用	51	46
役員退職慰労引当金繰入額	2	3
貸倒引当金繰入額	0	—
減価償却費	51	51
その他	447	471
販売費及び一般管理費合計	3,081	2,902
営業利益又は営業損失(△)	189	△22
営業外収益		
受取利息	13	10
受取配当金	290	254
有価証券売却益	70	12
持分法による投資利益	30	39
その他	27	33
営業外収益合計	432	350
営業外費用		
支払利息	15	24
固定資産除売却損	12	19
支払手数料	3	1
為替差損	29	21
その他	3	0
営業外費用合計	64	68
経常利益	558	259
特別利益		
投資有価証券売却益	107	—
特別利益合計	107	—
特別損失		
投資有価証券評価損	201	161
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	21	—
特別損失合計	223	161
税金等調整前四半期純利益	443	97
法人税、住民税及び事業税	157	67
法人税等調整額	9	△6
法人税等合計	166	60
少数株主損益調整前四半期純利益	276	36
四半期純利益	276	36

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	276	36
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,807	△259
その他の包括利益合計	△1,807	△259
四半期包括利益	△1,530	△222
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,530	△222

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	443	97
減価償却費	581	862
退職給付及び役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	24	△21
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5	△2
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△176	△12
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は益)	201	161
有形固定資産除売却損益(△は益)	11	18
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	21	—
受取利息及び受取配当金	△304	△264
支払利息	15	24
持分法による投資損益(△は益)	△30	△39
売上債権の増減額(△は増加)	1,014	1,168
たな卸資産の増減額(△は増加)	△590	△811
仕入債務の増減額(△は減少)	197	283
その他	△483	22
小計	920	1,486
利息及び配当金の受取額	308	264
利息の支払額	△15	△24
法人税等の支払額	△491	△113
営業活動によるキャッシュ・フロー	721	1,613
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△100	△301
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	526	344
定期預金の預入による支出	—	△200
定期預金の払戻による収入	400	—
有形固定資産の取得による支出	△2,629	△164
その他	△14	14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,816	△306
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,600	△610
長期借入れによる収入	3,600	—
長期借入金の返済による支出	△180	△413
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	—	—
配当金の支払額	△334	△334
その他	—	△24
財務活動によるキャッシュ・フロー	484	△1,382
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△610	△75
現金及び現金同等物の期首残高	1,657	1,831
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,047	1,755

(別紙)

名糖産業株式会社

平成24年3月期第2四半期決算参考資料

(金額単位：百万円、百万円未満切捨)

1. 第2四半期連結累計期間(中間期)の実績推移
(連結)

	19/9月	20/9月	21/9月	22/9月	23/9月
売上高	10,058	10,489	9,858	9,670	9,626
営業利益	361	92	301	189	△ 22
経常利益	719	544	576	558	259
四半期純利益	403	381	460	276	36

2. 通期の実績推移と業績予想
(連結)

	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期予想
売上高	23,404	23,683	22,605	22,088	22,000
営業利益	971	705	1,294	564	200
経常利益	1,635	1,160	1,777	1,096	700
当期純利益	935	809	1,226	708	300

3. 事業別売上高予想
(連結)

	24/3期予想	増減率	23/3期
食品	19,300	△1.3%	19,562
化成品	2,300	8.8%	2,114
不動産	400	△2.8%	411
合計	22,000	△0.4%	22,088

4. 営業外損益の内訳(実績)
(連結)

	第2四半期連結累計期間		通期
	23/9月	22/9月	23/3期
営業外収益	350	432	644
受取利息及び配当金	264	304	497
持分法による投資利益	39	30	12
その他の営業外収益	45	97	133
営業外費用	68	64	112
支払利息	24	15	41
その他の営業外費用	43	48	71